

令和7年度

# 学校評価

〈実施期間〉

自己評価 R.8.1.16(金)～1.23(金)

保護者アンケート R.8.1.16(金)～1.23(金)

学校評価委員会 R.8.2.20(金)



都留市立都留文科大学附属小学校

2025年度 都留文科大学附属小学校 学校評価（自己評価）

☆学校として重きを置いて指導を進めてきた項目、並びに次年度の学校経営に必要と思われる項目について絞って評価を行う。

評価項目

- 1 学校教育目標・学校経営・学級経営・教職員組織について
- 2 学習指導（教科指導・総合的な学習の時間・特別活動）
- 3 心の教育（道徳教育）・生徒指導・特別支援教育について
- 4 健康安全指導（保健・体育・食育・危機管理）について
- 5 英語教育・環境教育・福祉教育・情報教育・キャリア教育・図書館教育・他について
- 6 保護者・地域・大学他との連携について

◎評価は、4段階評価（4…良い 3…ほぼ良い 2…やや良くない 1…良くない）

…昨年より上がったもの（+0.3以上）・同等なもの（±0.2以内）

…昨年より下がったもの（-0.3以下）

1 学校教育目標・学校経営・学級経営・教職員組織について

①	学校教育目標・学校経営方針に基づいて、教育活動をおこなっている。	<b>3.7</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標を念頭に置きながら学級経営を行うことができた。</li> <li>・校長先生が始業式や附属小タイムで繰り返し児童に伝えている。また、話している内容は児童にもわかってきており、実践している児童が増えた。</li> <li>・少人数ゆえに手助けが多くなりがちでたくましさ(自主性・試行錯誤など)がもっと欲しい。</li> </ul>	3.7 (昨)
②	児童理解に努め、児童の自主性と教師の指導性の調和のとれた学校経営・学級経営をおこなっている。	<b>3.5</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が注目される機会があり、少人数のよさを感じています。</li> <li>・児童個人の能力に応じて、支援をしたり任せたり、考えて行うことができた。</li> <li>・自分で考える・進んで行動する・チャレンジするなど、「自分から進んで考え行動する子」という目指す子供像に掲げられている。準備をしっかりさせること（事前指導）・教師の見守り・事後の評価が大切だと思う。</li> <li>・①同様教師の指導が多くなりがちに思える。</li> </ul>	3.6 (昨)
③	教職員間における相互理解や信頼関係による指導・助言・協力体制がとられている。	<b>3.4</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員も児童も少人数だからこそ、全校一丸となって様々な行事や活動を行うことができたと思います。</li> <li>・相談し合える環境がつけられていると思う。</li> <li>・困った時には、すぐに助けていただける職場の雰囲気があり有難いです。</li> <li>・自分のわからないところは、積極的に相談して指導を仰ぐことができた。みんながそのようにできる雰囲気になっているかは、わからないところがある。</li> <li>・児童の情報交換が数多く行われていて良いです。</li> </ul>	3.7 (昨)

考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標に基づいた教育活動が行われている。</li> <li>・それぞれの教員が児童の様子を良く観察し、小さな変化も見逃さず児童理解に努め、丁寧な学級経営が行われている。また、教職員それぞれが情報交換を行い、個への適切な対応が行われている。</li> <li>・児童の様子や不明な点について明らかにしようとしたり、互いがどのような仕事をどう進めているかなど周囲の状況に配慮しながら、よりよい指導が協働で行われるよう努めてきた。</li> <li>・学校教育目標や児童の自主性、主体的に取り組む態度等の育成を共有し、本校の課題解決に向けた教職員同士のコミュニケーションや関わり合いを通して、相互理解を高めていきたい。</li> </ul>	
----	--	--

## 2 学習指導（教科指導・総合的な学習の時間・特別活動）について

①	児童個別の実態をふまえ、個に応じた指導法・評価方等の工夫改善をおこない、児童の学習習慣定着や学力向上に取り組んでいる。	3.6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの個に応じた指導を工夫できた。</li> <li>・支援員も入っていただき子どもたちが困っていることに目の届きやすい支援体制だと思う。</li> <li>・家庭学習の習慣化には、本人の自覚に加え、家庭の協力が欠かせないと痛感しています。</li> <li>・少人数のため、個人に応じた指導がしやすい。</li> </ul>	3.5 (昨)
②	児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを活用したり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させたりして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいる。	3.2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽学級にも電子黒板を使わせてほしい。</li> <li>・個別最適な学びを取り入れた時には、いつもよりも意欲的に取り組む姿が多く見られました。教材研究の時間をいかに確保するかが課題です。</li> <li>・個別指導、個人での活動や学びは多いが、個別最適な学びというとなかなか難しい。少人数のために、協働的な学びについては意識して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・個別最適ではあるが、ICTの活用や協働的部分では、足りないところがあると感じている。</li> <li>・学年により使う学年と使わない学年で差があった。</li> <li>・求められているのは、①基礎的基本的な知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的に取り組む態度、④個別最適・協働的な学習など。②④については、来年度計画的に取り組むことが大切だと思う。</li> </ul>	3.3 (昨)
③	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成している。	3.1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都留文科大学との連携もあり、たくさんの体験活動の機会がある。それらを総合的な学習や教科との関連で深めていけるとよい。</li> <li>・探究的な活動は基礎学力の向上に比べ、あまり取り組めなかった。課題について調べ、</li> </ul>	3.3 (昨)

	<p>さらなる疑問について探求する方法は指導することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤探究の過程（課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現）に基づき、学習を進めていくことが大切であると思う。</li> </ul>	
④	<p>児童会活動は、より良い学校を作るために児童の発想を生かして話し合い、自発的・自治的な活動や、異年齢集団による交流活動が工夫して実践されている。</p>	3.9
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会活動によって縦割りや全校の仲が深まるような取り組みが多かった。特に縦割り清掃や給食など、遊び以外の活動が日々の教室での活動に生きていたと思います。</li> <li>児童会を中心に、自分たちで学校活動をしていこうとする気持ちが伝わる。</li> <li>自分たちにできることを考えて、活動に移しています。定期的に行ったたてわり班そうじは、特別教室をきれいに保つことができ、高学年のリーダー性を高める機会になったと思います。</li> <li>レク的な楽しい活動だけではなく、月のめあてを意識しての取り組みや、本校の課題について、意識して取り組む活動なども実践されていて、本来の児童会活動の目標が達成できていると思う。</li> <li>代表委員会や縦割り活動、月のめあて等を通して、実践されていた。</li> <li>全校レクや SUMMERFESTIVAL、縦割り班給食など、全校で交流する機会が多かったと思います。</li> <li>児童会執行部・6年生を中心に、縦割り班活動を活用して、様々な交流活動を展開することができている。</li> <li>自分たちの生活を向上させるための取組が執行部の提案をもとに、学年ごとに PDCA サイクルにより次のステップへすすめられている。</li> <li>代表委員会では、各学年からの発言の機会が保障されており、毎回全学年からの意見が多数発表され、執行部児童が考えた方向性でしっかりまとめられている。</li> </ul>	3.2 (昨)
考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学力向上・学習習慣の定着は多くの職員が常に念頭に置いて授業、3検定、家庭学習等について指導をしている。家庭学習を意欲的にまたは自力で取り組めるよう家庭と協力し合い取り組んで行きたい。</li> <li>「ICTの活用」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」「学習者主体の授業づくり」については、学年間で積極的に情報交換し、全学年で実践を重ね底上げしていきたい。</li> <li>探究学習は、新学習指導要領において中核を成す要素である。都留文科大学との連携・地域教材等との関連させることも一案として、全校で取り組んでいく必要がある。</li> <li>児童会や6年生が核となり、縦割り班による集会活動や清掃、全校での遊び・餌やり活動他、活動の機会が設定され、25人がつながりを持ち楽しく学校生活を送ることができている。また、生活のめあてを設定して、自分たちの生活をより良くするために、振り返り・整理・分析することを通して課題を明らかにし、改善に向けた自治的な活動が、集団の成長、附属小の学校づくりにつながっている。</li> </ul>	

### 3 心の教育（道徳教育）・生徒指導・特別支援教育について

①	道徳教育を中心とする全教育活動を通して、思いやりの心と感謝の心を持てるよう指導を	3.6
---	--	-----

	おこなっている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生を中心に、優しい言葉かけや心遣いを感じる。</li> <li>・学校生活の中で見つけた善い行いは、クラス全体に共有し、認めています。</li> <li>・全教育活動を通して、友達や身近な大人へ対する気持ちについて考えさせることができた。</li> <li>・道徳推進教師による道徳授業から学ぶことができた。全校で重点項目を共有して取組を進めていけばさらに良いと思う。</li> </ul>	3.5 (昨)
②	集団の一員としての規範意識を育て、良識ある行動をとれるよう全校職員の共通理解のもと、協働態勢での生活指導・生徒指導をおこなっている。	3.6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週の情報交換により、全校職員が全校児童をよく知っているのも、同じ方向を見て指導ができていると思います。</li> <li>・全職員の共通理解のもと、指導を進めていくことが大切である。</li> <li>・どの学年の児童に対しても同じように「附属っこのやくそく」や生徒指導のめあてをもとに指導を行うことができた。職員の打ち合わせで共通理解もできている。</li> <li>・月1の生徒指導担当者による話や児童会の月の目当て等で日々の行動を子どもたちが気を付けていけるように指導や声かけが出来たと思います。</li> <li>・生徒指導情報交換により、全職員で課題を共有して、全職員で児童を指導する体制がとられた。</li> </ul>	3.6 (昨)
③	いじめや不登校、問題行動の早期発見と早期対応に努めている。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日の打合せ時に行う情報交換の場やケース会議において取り組まれているように感じます。</li> <li>・少人数のため、児童の変化に気づきやすいと思います。担任だけでなく、他の先生も気づいてくれることもあります。</li> <li>・打ち合わせの情報交換によって、児童の状況を共通確認することで対応ができている。</li> <li>・アンケートの実施や、日々の生活で子どもたちの様子をみてきたと思います。</li> <li>・情報交換、児童アンケート、児童への聞き取り・事後指導などが丁寧におこなわれている。</li> </ul>	3.8 (昨)
④	支援を必要とする児童の情報交換・共通理解・外部機関との連携のもと、適切な支援をおこなっている。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭先生に外部機関へ迅速に連絡・調整を行っていただいた。</li> <li>・特別支援コーディネーターを中心に適切に支援ができている。</li> <li>・週に1回の情報共有で子どもたちの実態を伝えることができました。</li> <li>・課題のある児童等について、ケース会議で、指導の方向性を決め、チームで指導する体制がとれている。</li> <li>・教育支援センター、健康子育て課などと情報共有し、連携を図っている。</li> <li>・SC 戸村先生に全校児童を一人一人見ていただき、専門的な知見からのアドバイスが大変参考になりありがたく思う。</li> </ul>	3.6 (昨)
考	・特別の教科道徳が確実に行われ、心が育成につながっている。教科としての道徳と日常	

察	<p>生活や行事との関連を図りつつ、担任による声掛けや事前事後の指導やふり返しを通して、心情・判断力・実践意欲・態度の育成にさらに取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回行われる生徒指導情報交換会により、普段からの観察による児童・学年・学校の小さな変化や気づきについて管理職をはじめ全職員に情報共有され、確認された対応や取組が同じ考えのもと行われている。</li> <li>・附属小タイムは、校長や生徒指導担当及び児童会からの話を通して、学校教育目標や学校生活の過ごし方について共通理解を図る場となっており、児童全員が決まりや約束・過ごし方を意識して学校生活を送ることができるようになってきている。</li> <li>・学校生活アンケートや日頃の児童観察が問題の早期発見につながり、児童間のトラブルも含め、児童への聞き取り・事後指導等・保護者対応など、早期対応が丁寧におこなわれている。</li> <li>・実態に応じたケース会議を開き、支援の方向性や取組及び評価を行うことができた。また、SC・外部との情報共有により、役割分担の明確化、専門的知見による指導助言をいただいた結果、連携により適切な支援をおこなうことができています。</li> </ul>	
---	--	--

#### 4 健康安全教育（保健・体育・食育・危機管理）について

①	児童の健康状況の把握に努め、保護者への啓発や保護者との連携を図り、健康安全教育を推進する指導を行っている。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭を中心に、保護者との連携を図り、児童の健康状態の把握に努めています。</li> <li>・本校の児童の実態を踏まえ、それに合わせた健康安全教育を行うことができていた。</li> <li>・養護教諭を中心に保護者への啓発ができています。</li> <li>・保護者と連絡をとり、具合が悪い・怪我の児童への対応が円滑にできました。</li> <li>・食育・保健に関して、学校で取り組んだことも含め、お便りを作成配付し、保護者との連携・啓発に積極的に取り組むことができた。</li> </ul>	3.8 (昨)
②	運動を通じて体力を養うとともに、食育の推進を通して望ましい食習慣を身に付けるなど、健康的な生活習慣の形成に取り組んでいる。	3.6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭と連携した食育の取り組みにより、児童が望ましい食習慣について考える機会となった。</li> <li>・運動をすること、バランスよく食事をするのが健康につながることを、保健だより等を通して児童に指導している。給食の苦手なものを少しでも食べられるように取り組みも行った。</li> <li>・もぐもぐクエストで苦手なものでも食べようとする子が増えたと思います。</li> <li>・児童の実態にある課題を踏まえ、栄養教諭と連携して食育指導を行い、児童は食への関心を深め、実践し、目に見える形で成果を感じる事ができた。</li> </ul>	3.8 (昨)
③	防災・防犯について安全教育を推進し、避難訓練・防犯訓練・交通安全等、危機管理の対応に取り組んでいる。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クマについての対応も児童に説明でき、意識して登下校をしているようでした。</li> <li>・防災についての安全教育が計画的に行われてよかった。</li> </ul>	3.8 (昨)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルに則って安全教育を行っている。登校班指導により、登下校についても交通安全指導ができています。</li> <li>・避難食を食べたり避難ベットで寝たりと防災についての意欲づけが出来たと思う。また、防犯の話もわかりやすく勉強になりました。</li> <li>・自分の命を自分で守れるよう学ぶ機会を作った。</li> <li>・登下校についてPTAの街頭指導により、登下校中の安全確保に取り組んだ。</li> <li>・教頭先生や権守さんに、修繕などすぐに対応していただき助かりました。</li> </ul>	
考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・声掛け、家庭との連絡をおこない、児童の健康把握・家庭との対応に努めた。また、養護教諭と担任との情報共有、管理職への報告も確実に行われ、学校として児童の健康に配慮できた。</li> <li>・児童の実態や、望ましくない生活習慣から出てきた課題に、養護教諭・栄養教諭が協力して食育指導を行った。全校での取組と個別の対応で食習慣の改善につながっている。</li> <li>・事故・災害について、いろいろな想定下で、地域や所在の実態に合う訓練を行い、いざというときに児童が自分の命を守る行動がとれるように、今後も児童の学習の機会を設定していきたい。</li> <li>・PTAやスクールガード、学校評議員、地域の皆様の協力により、登下校中の児童の安全を確保することができた。</li> </ul>	

#### 5 英語教育・環境教育・福祉教育・情報教育・キャリア教育・図書館教育・他について

①	英語特区の学校であることを意識して、日常から児童の英語による基礎的なコミュニケーションの能力の育成に取り組んでいる。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は日常の活動が盛んにおこなわれていると思います。来年度も継続した取り組みが大切だと思います。</li> <li>・ALTが積極的に児童に話しかけてくれるといいと思う。</li> <li>・授業の始まりや終わりのあいさつ、献立の発表、ALTによる登下校のあいさつや給食と一緒に食べる取り組みなど、日常的に英語に触れる機会が増えている。</li> <li>・日付は掲示などいたるところに英語を感じるものが貼られていて児童の意欲づけができていたと思います。日々の英語授業では子どもたちが楽しく授業をおこなうための工夫がされていて、着実に子どもたちの英語力がついていていると思います。</li> </ul>	3.8 (昨)
②	環境教育や自然体験活動・学校林活動の活動等を通して、環境への関心を高め、理解を深めさせるなど、環境教育の充実に取り組んでいる。	3.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携して、さまざまな学習や体験を行うことができてよかった。</li> <li>・ムササビ観察会も実施できて、学びを深めることができました。計画・準備ありがとうございました。</li> <li>・学校林等の活動を通して、生き物や植物に関する興味関心が高まり、理解も深まっている。</li> <li>・花をたくさん植え、学校周りの環境美化に努められたと思います。</li> <li>・学校林、自然体験活動、生物観察等の活動が、教科・総合等の学習との連動で効果が上</li> </ul>	3.7 (昨)

	がると思う。	
③	福祉や人権への関心と理解を深め、共に生きる心を育むとともに、多様性を尊重する態度を養うように取り組んでいる。	3.4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あすチャレで福祉について考える機会がある。あとは、日常の授業で関わる単元があるときに取り組んでいる。</li> <li>・アスチャレがとても良い機会だと思いました。</li> <li>・アストレの福祉講話が今年もおもしろかったです。</li> </ul>	3.3 (昨)
④	情報教育は、児童の実態をふまえて計画的におこない、情報リテラシー育成に取り組んでいる。	3.4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校においては、情報に関するトラブルもなく、一人一台端末のタブレットを適切に利用していると思います。</li> <li>・SNSの学習を児童・保護者に実施することができてよかった。</li> <li>・ICTを活用できるように方法を指導した。情報リテラシーについては、情報を集める際に真偽を確かめることの大切さやインターネットによる問題点についても折に触れて話していった。</li> <li>・保護者・児童への学習の機会を設定して取り組むことができています。</li> </ul>	3.3 (昨)
⑤	より良い人間関係を築きながら、自らの良さや自分らしさに気づき、生活の中でそれらを生かそうとする意欲や態度の育成に取り組んでいる。(キャリア教育)	3.3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、学校行事のいろいろな場面でみんなが活躍できるのがよいと思います。</li> <li>・教育活動の中で、自分の得意なこと不得意なことに気づかせ、それを生かせるような声掛けをしている。</li> <li>・様々な職種の方のお話を聞く機会もあると良くて大切だと思いました。</li> <li>・キャリアパスポート・ミニミニ大学については実施できている。</li> </ul>	3.4 (昨)
⑥	図書館教育や読書指導を年間通して計画的におこない、読書力の向上に取り組んでいる。	3.5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア読書や読み聞かせ等、本に触れる機会が多くあるものの、読書量(貸出数)が増えないのが課題です。</li> <li>・読み聞かせやペア読書、図書委員会の活動など、いろいろな活動を行っているが、数字としての読書量の増加に繋がっていないなと思っています。</li> <li>・図書室での様々な取り組みにより、児童が本に親しむことができた。 国際子ども図書館から本を借りることで他校からの読書郵便や、さまざまな国の本に触れる機会をもつことができてよかった。</li> <li>・読書ボランティアによる、様々な本の読み聞かせは、今後も続けていけるとよい。</li> <li>・図書室での企画や読み聞かせ、ペア読書などの取り組みを通して、児童の読書への興味・関心を高め、読書力の向上に取り組むことができた。</li> <li>・毎月の読書数の一覧がありがたいです。様々な工夫された取組がされていると思います。</li> <li>・年間を通しいろいろな企画を考えてくれました。</li> <li>・読書への関心を高める取り組みは積極的におこなわれている。年間計画には様々な行事が行われている。また、各学年でも図書の時間を設定し、一緒になって読書活動を積極</li> </ul>	3.4 (昨)

	的に行っている先生もいる。	
考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語専科教員の工夫された授業により楽しみながら学習を深めることができている。また、英検 Jr. の取組を視野に入れながら児童の英語力の育成に年間を通して取り組むことができている。英語専科教員・ALT が常駐していること、クラスルームイングリッシュなど日常的に英語に触れる機会が提供されている。</li> <li>環境教育・学校林活動・自然体験活動は、附属小の教育課程に位置づけられた特徴となる部分である。森林プログラムの系統性を意識して、学びの深まりが感じられるよう取り組んでいきたい。</li> <li>福祉講話や道徳も含めて、日々の児童相互の関わりの中で課題が見られたときに、ハンディキャップにとらわれない人間の本当の良さに気づかせることがたいせつである。教室での学級経営が認め合う学びの場になる。</li> <li>児童へのメディアリテラシーの学習、保護者への SNS 学習会を、繰り返し効果的に実施していきたい。また、ICT 活用については、系統性を念頭に置いて、学年相応の必要な知識・技能を習得するため、学ぶ機会を確実に実施したい。</li> <li>キャリアパスポート（記入・振り返り）に取り組むとともに、児童の長所・良さがどのようにつながってきているか気づかせていくために、児童の活動の様子を見取り、直接伝える取組を継続していきたい。</li> <li>読書への興味関心を持たせるため、読書ボランティアによる読み聞かせに来ていただき、子どもたちも楽しみにしている。また、計画的な読書指導は図書主任がリードして積極的に行われ、図書司書による企画もおこなわれている。貸出冊数増に向け、担任とともに図書館へ行き本を借りる、本と向き合う時間を持つことから始めたい。</li> </ul>	

## 6 保護者・地域・大学他との連携について

①	保育園や他校種（中・高）と連携し、教育活動をおこなっている。	3.4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流していないわけではないが、連携しているほどではないと思う。</li> <li>徒歩圏内がないのでなかなか難しいと思います。</li> <li>開地保育園での英語の読み聞かせは、児童の自主性が出てよかったです。</li> <li>6年生の遠足で保育園に交流をしに行ったり、夏休みの図書室へ中学生が教えに来てくれたり、興譲館高校の生徒が英語で交流をしてくれたり、連携ができている。</li> <li>回数は多くはないですが、できる範囲で連携を図った取組がされていると思います。</li> </ul>	3.2 (昨)
②	都留文科大学との連携・協力を積極的におこなっている。	3.6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニミニ大学や6年生の遠足での見学、SAT での交流がありました。</li> <li>毎年行われているミニミニ大学は、良い経験にもなるので来年も続けてほしいです。</li> <li>ミニミニ大学や昔遊びの会など地域の方が子どもと関わる機会が多いと思います。</li> <li>補助金活用を含め、ミニミニ大学・大学教員による指導などで積極的におこなわれている。</li> </ul>	3.4 (昨)
③	開かれた学校づくりのため授業参観・懇談会を実施したり、「学校だより」、「学年だより」の発行、及びホームページ更新等を通して、学校の教育活動について保護者や地域等に情	3.8

	報提供をおこなっている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新が頻繁で、学校の様子がすぐに保護者に伝わっていると思います。</li> <li>・学年によって差はあるが、概ね保護者への情報提供はできている。</li> <li>・学校だよりや先生達の日々のお便りで情報をこまめに提供していると思います。</li> <li>・学校の教育活動について情報提供は適切に行われていると思う。学年便りでは、児童の様子・保護者へのお願い・学習予定が情報提供されていると思う。</li> <li>・懇談会の実施は、児童の様子を家庭に伝える良い機会になっている。</li> </ul>	3.7 (昨)
④	学校と地域・保護者との連絡や情報交換は適切におこなっている。	3.7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にご協力いただき、さまざまな行事をおこなうことができた。</li> <li>・学校評議会や地域ボランティアも含め、保護者や地域の方との連携は概ねできている。</li> <li>・小さなことでも情報交換がされており、小規模校の良さを感じます。</li> </ul>	3.6 (昨)
考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・他校種との交流は、児童にとって学びの場になっている。ミニミニ大学や大学、教員による指導（動物観察・プログラミング・陶芸他）は、附属小だからできる、児童にとって貴重な学習の場となっている。</li> <li>・学校HP・学校だより・学級だより・保健便り・給食便り等をスクリーンでの配信し、学校の教育活動の紹介を地域・保護者に行っている。</li> <li>・地域においては、学校評議員会・学校行事への参加協力等、普段から学校の教育活動について意見交換する機会は持っていると思われる。家庭訪問・授業参観・懇談会だけでなく必要な連絡を随時おこない、学習・保健・生徒指導上の対応等、学校生活全般に渡って家庭とも連携して、学校教育が行われている。</li> </ul>	

都留文科大学附属小学校 保護者アンケート

R8.1.16～R8.1.23

都留文科大学附属小学校

各項目の当てはまると思われる選択肢一つを選んでください。また、ご意見を入力してください。ない場合は「なし」と入力してください。

A…大いにそう思う B…まあまあそう思う C…あまり思わない D…全く思わない (%)

※ A=4, B=3, C=2, D=1 として平均値を求めた。下段( )内は、昨年度平均値

**みどり**・・・Aの割合が5%以上増えたもの

**ピンク**・・・Aの割合が5%以上減ったもの

**きいろ**・・・C評価・D評価がついたもの

なお、いただいたご意見のうち、主なものを載せさせていただきました。ご理解のほどよろしくお願  
いいたします。

学校について		A	B	C	D	平均
1	学校は、やさしい子どもを育てようとしている。 (思いやり・挨拶)	76 (48)	24 (52)	0 (0)	0 (0)	3.8 (3.5)
2	学校は、かしこい子どもを育てようとしている。 (意欲的に学習に取り組める)	64 (41)	32 (56)	4 (4)	0 (0)	3.6 (3.4)
3	学校は、たくましい子どもを育てようとしている。 (進んで運動・最後まで頑張れる・健康や安全に気を付ける)	60 (52)	40 (33)	0 (11)	0 (4)	3.6 (3.3)
4	運動会や校外学習等の学校行事は、子どもたちにとって魅 力あるものになっている。	72 (74)	20 (22)	8 (4)	0 (0)	3.6 (3.7)
5	学校は、保護者や地域の方々が授業や行事を参観できる機 会を適切に設けている。	80 (70)	16 (30)	4 (0)	0 (0)	3.8 (3.7)
6	学校は、子どもの安全に配慮し、適切な指導と危機管理を 行っている。	48 (56)	52 (37)	0 (7)	0 (0)	3.5 (3.5)
7	学校は、子どものことで連絡・相談しやすい。	72 (56)	16 (37)	12 (7)	0 (0)	3.6 (3.5)
8	学校は、家庭への連絡や情報提供を適切に行っている。	68 (52)	28 (48)	4 (0)	0 (0)	3.6 (3.5)
9	通知表は、子どもの学習の様子がわかるものになってい る。	52 (33)	48 (52)	0 (11)	0 (4)	3.5 (3.1)

<学校について：ご意見>

- 1・少人数だからこそお互いを大切にする気持ちが育っているようです。
  - ・登下校のあいさつがしっかりできていると思います。
- 2・細かにご指導いただき、いろいろなことを考える力がついてきていると思います。
  - ・1人1人に丁寧に教えてくれているので、わからない所はすぐに解決出来ていると思います。
  - ・子供にあった教えた方をしてくれるので助かる
- 3・心配事があるとすぐ相談になってくれたら声をかけてくれる
- 4・毎回とても楽しみにしている
  - ・子どもたち主体でとてもいいと思います。
  - ・とても魅力的だと思います。本番に向けてみんなで協力している姿を見てきたので。
- 5・普段の様子を見る機会を学期ごとに設けて頂けているので、とても楽しみにしています。
- 6・PTA 交通安全街頭指導で気になった所を伝えと、すぐに対処してくれて安心しました。
- 7・気になる事があると学校側からも声をかけてくれる
  - ・保護者の意見を尊重しないのだと思ってしまった
  - ・休んだ時の連絡、些細なことで相談にのっていただけるととても、相談しやすいです。
- 8・連絡帳でもお知らせして頂いたり、忙しくても電話を頂いたり、とても助かってます。

<考察>

- ・「学校について」に関して、ほとんどの項目について肯定的回答（A+B）が88～100%。それ以外がC評価になっている。
- ・学校教育目標「やさしく かしこく たくましく」に関しては、様々な学習・行事・取組に関連させて指導している。児童と振り返りながら確認・評価するとともに、今後も一層の努力をしていきたい。「やさしく」については、少人数の中で縦横のつながりを持ち、交流ができていることを評価している。また、進んで挨拶する児童が増えてきており、今後も学校・家庭で働きかけていくことが必要。「かしこく」（意欲的に学習に取り組める）、「たくましく」（進んで運動最後まで頑張れる 健康や安全に気をつける）について、C・D評価はないがA評価は約60%である。少人数の利点を生かし一人一人に合った指導が学習内容理解につながっていることを評価している。児童が意欲的に学習に取り組む児童の育成、心身の健康・粘り強さの育成を学校に期待している。
- ・交通安全指導をPTA活動として保護者にも協力していただいている。年間を通して街頭指導を行い、その様子を報告していただき学校や家庭での指導に生かしている。危機管理としては、今後も様々な危険を児童・教職員・学校施設内外について想定し、できる訓練を重ねていきたい。
- ・4・5の行事では様々な取組が行われ、参観に関して多くの機会が設定されている。学校生活が実りあるものとなるよう、じっくり取り組めるゆとりづくりも考えていきたい。
- ・家庭への連絡・情報提供については、今後も、学校だより・学年だより・ホームページ更新・スクリーン等、様々な方法で確実な伝達に努めており、ホームページは随時更新している。
- ・連絡・相談しやすいについては、担任や学校一保護者との信頼関係を築いていくよう努めていきたい。
- ・「あゆみ（通知表）」について、観点別評価により、何がどのような状況であるのか分かり安さを求めている。成果や課題について、児童には個々に学級指導の中で伝え、保護者には個別懇談等において、担任から丁寧な説明を望んでいる。

教師について		A	B	C	D	平均
1	先生は、おたよりや部会などで、子どもの生活状況や学級の様子、子どもの成長（学習面など）についてわかりやすく伝えている。	76 (59)	20 (33)	4 (7)	0 (0)	3.7 (3.5)
2	先生は、わかりやすい授業に努めている。	88 (52)	12 (41)	0 (7)	0 (0)	3.9 (3.4)
3	先生は、子どもたち一人ひとりのことを理解しようと努めている。	80 (59)	16 (37)	4 (0)	0 (4)	3.8 (3.5)
4	先生は、子どものことについて相談に応じてくれている。	84 (56)	8 (41)	4 (4)	4 (0)	3.7 (3.5)
5	先生は、いじめがないように努めている。	76 (56)	20 (41)	4 (0)	0 (4)	3.7 (3.5)

<教師について：ご意見>

- 毎週の頂くおたよりが、写真入りで、学校での子どもの表情や様子が伝わりやすく有り難いです。  
・写真も載せてあるので見やすいです。
- 勉強面では、生徒それぞれの苦手な漢字などを個別に宿題に出したり、生活面では、性格的な違いを理解しわかりやすい伝え方で対応してくれてる。  
・すごい理解してくれていると思います。
- 些細なことでも相談にのっていただける先生だと思います。

<考察>

- 「教師について」に関して、ほとんどの項目について肯定的回答（A+B）が92%以上である。ただし、A評価が増えているが、新たなC・D評価も見られる。継続して一層努めていきたい。
- 学級からのお便りに関する意見は、学級・児童の様子に関心がある現れと捉えることができる。できる範囲で伝えるよう努めていきたい。
- 少人数により、一人一人への対応がきめ細かに行うことができている。今後とも、児童・保護者の声に耳を傾け、個別に丁寧な対応に努めていきたい。
- 一人一人の児童の観察・把握、声掛け・交流、指導等は、小規模校の長所として生かしていきたい、個々の児童理解に努め、保護者と共に児童を育てていけるよう、また、学習に関しても基礎的基本的な内容の確実な定着と学力の向上にも努めていきたい。
- 児童の学校での様子・気になることなど、学校から積極的に発信していきたい。

子どもについて		A	B	C	D	平均
1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	56 (63)	40 (37)	4 (7)	0 (0)	3.5 (3.6)
2	子どもは、よくあいさつをする。	40 (48)	56 (41)	4 (11)	0 (0)	3.4 (3.6)
3	子どもは、仲のよい友だちがいる。	64 (67)	36 (33)	0 (0)	0 (0)	3.6 (3.7)
4	子どもは、進んで家庭学習をしている。	48 (37)	16 (41)	28 (19)	8 (4)	3.0 (3.1)
5	社会のルールを守る態度が育ってきている。	52 (44)	44 (56)	4 (0)	0 (0)	3.5 (3.4)
6	子どもは、進んで読書をしている。	20 (30)	28 (33)	40 (22)	12 (15)	2.6 (2.8)
7	子どもは、英語に親しんでいる。	32 (37)	60 (41)	8 (22)	0 (0)	3.2 (3.1)

<子どもについて：ご意見>

- 2・学校以外では恥ずかしさもあってか自分からはしない
- 3・少ない人数なので、1人の友達に依存してしまうことが心配
- 4・宿題＝めんどくさいの気持ちがあるようで、やり始めるまでに時間がかかる
- 6・学校で借りてきた本を持ち帰ってきてても家では読まない。
- 7・知ってる単語を嬉しそうに言ってます

<考察>

- ・1・2・3・5・7について、肯定的回答（A+B）が92～100%となっている。A評価の割合約3～6割と低く、Bと同等かそれ以下のものもある。
- ・挨拶については、学校全体で取り組んできた。校内の友だち・教職員以外に、地域の人や信号機で停まってくれた人に対しても広げてきた。登校中に挨拶をする児童の様子を報告して下さった保護者も多い。相手に伝わる挨拶を心がけ、指導を継続すると共に、子供たちが進んで挨拶のできる附属小をつくり上げていきたい。
- ・「進んで家庭学習」については、A評価が増えたもののC・D評価が増え、関心・意欲に個人差が見られる。各学級でも家庭学習への指導を学年・個に応じて指導してきた。「進んで読書」は、A・B評価が約半数、C評価が約4割と増えている。学校では興味関心を高めるための機会を計画的に実施したり、取組をおこなったりしてきた。しかし、実際に自分で本を読むことにあまり結びついていないのが実態となっている。学習・読書ともに、児童の意欲を向上できるような努めるとともに、家庭での啓発をお願いしていきたい。
- ・「社会のルールを守る態度」については、昨年度と同等である。社会のルールを守る態度の育成について、学校では、生徒指導や児童会の取組として生活目標を掲げて取り組んでいる。その定着を図って行きたい。
- ・仲の良い友だちについて、附属小では、休み時間に同学年以外の児童とも遊ぶ機会が良くあり、全校の他の児童のことを知っている。小規模校ゆえ、組織的・計画的な縦割り班活動の他、休み時間においても縦の繋がりによる交流がよく行われている。
- ・英語特区・英語専科による授業では、全学年において楽しく意欲的に英語の活動に取り組んでいる子どもたちの姿が見られる。また都留文科大学との連携により、たくさんの体験を重ねることができており、附属小の特色が出ていると思われる。授業以外でも、ALTが英語で話しかけてくれる機会があり、日常化を図っている。

<まとめ>

- ・それぞれの項目について、おおむね好意的な評価を得られている。しかしながら、質問項目の回答には、C評価やD評価のついている項目があることも事実である。改善できる点、工夫できる点については、来年度に生かす必要がある。
- ・また、保護者や地域の方が願いや思いを伝えやすい学校となるために、日常からのつながりを大切にしていきたい。
- ・保護者・地域の方・教職員の目指すところは子どもたちの健全な成長である。スクールカウンセラーとも連携を図り、子どもたちのことを考え、互いに意思の疎通を図ることも必要である。
- ・上記のことを心にとめ、今後も教職員としての自覚を持ち、学び続ける中で、附属小学校の児童が自ら楽しく学べる学校づくりを全職員の総意のもとで行っていきたい。

## 第2回学校関係者評価委員会

令和8年2月20日（金）

午後3：35～4：40

場所：附属小 校長室

2月20日（金）に学校関係者評価委員会を開催し、学校から「学校評価」についての説明をおこなった。参加者からは様々な意見をいただいた。児童の実態や教育課程との関りを考え、検討した上で次年度以降の教育活動に反映していきたいと考える。

※「google form」アンケート機能を利用し、教職員・保護者ともに記名式とした。

※選択肢の回答はすべて必須。意見については自由回答。

出席者：学校評議員5名（全員）、校長、教頭、教務主任

### 1. 開会の言葉（司会：教務主任）

### 2. 学校長挨拶

本校の特色 教育課程特例校（英語特区・英語公開授業）、  
都留文科大学連携事業（ミニミニ大学・文大教員による指導）  
学校林活動・自然生物観察による環境教育  
学校評議員をはじめとする地域の方々への感謝

### 3. 協議

#### ①令和7年度学校評価について

〔教頭より〕

教職員評価（自己評価）

#### 1－①②について

- ・学校教育目標を念頭に据えた指導ができています。
- ・先生方のきめ細やかな指導により、個に対応できています。
- ・少人数、支援員、学力向上支援スタッフにより、手厚く指導できています。
- ・一方で、児童の自主性・たくましさ、へこたれずにチャレンジする姿勢に物足りなさを感じている職員もいる。明確な目標設定、事前の取組や準備、児童の自力解決に委ね、任せる教師の見守り、事後のふりかえり・評価により、学校教育目標にある「たくましく」を重点として取り組んでいきたい。

#### 1－③について（教職員組織）

- ・教職員間の相互理解・信頼関係が低い。全教職員で学校教育目標を再確認・共有し、課題解決に向け、教職員同士のコミュニケーションや関わり合いを通して相互理解・信頼関係を高めていきたい。

## 2-①②③について（学習指導）

- ・学力向上に向け、全職員（支援員・学力向上支援スタッフ・大学生を含め）一人一人の児童の実態に合わせ、取り組んでいる。
- ・ICT活用、思考力・判断力・表現力の育成、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、探究的な学び（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現・振り返り考え更新）に課題が見られる。
- ・地域教材・地域学習、文大との連携と関連させながら学習を充実させていきたい。

## 2-④について（特別活動）

- ・児童会活動において、執行部・6年生を中心とした縦割り班活動が盛んにおこなわれ、全校25人のつながりを大切にした楽しい学校づくりが行われている。また、日常の学校生活からめあてを設定し、自治的な活動が行われ、集団の成長・学校づくりに結びついている。

## 3について（道徳教育・生徒指導・特別支援教育）

- ・週1回おこなわれる生徒指導情報交換により、成果や課題を全職員で共有し、対応ができています。
- ・児童アンケートや日頃からの児童の観察、SCや外部機関との連携による専門的知見からの指導等により、問題の早期発見・早期対応ができています。

## 4について（健康安全教育）

- ・担任・養護教諭による健康観察（心・身体）がきめ細かにおこなわれ、気になる児童については関係職員に情報共有されチームとして・学校として対応ができています。
- ・また、食習慣の課題について栄養教諭と協力して改善に向けた取り組みをおこない、大きな成果を上げた。

## 5-①について（英語教育）

- ・常駐の英語専科・ALTにより、児童は日常的に英語に触れることができています。また、文大英語教員の指導の下、英語専科が興味関心を高める指導をおこない、児童は楽しく学び、英語に親しむことができています。

## 5-⑥について（読書指導）

- ・興味関心を高める活動や取組はとても充実している。評議員等による読み聞かせも児童は楽しみにしている。図書司書による企画により図書室に来る児童も増えているが、貸出冊数に結びつかない現状がある。担任と図書室へ行き、本を借りる活動を実際におこなうよう取り組んでいきたい。

## 6について（連携）

- ・他校種（小中高大）との交流が盛んにおこなわれている。大学の先生に指導していただく機会はとても貴重な経験である。（陶芸・プログラミング・動物観察等）
- ・地域の方々にも様々な活動に協力していただき感謝している。

## 保護者アンケート

## 学校について

### 1 2 3 について（学校教育目標）

- ・学校教育目標「やさしく かしこく たくましく」について保護者は凡そ A 評価である。かしこく・たくましくについては若干下がっており、児童が意欲的に学習に取り組み、心身を健康に、粘り強く取り組むことに期待していると考えられる。

### 6 について（学校安全・危機管理）

- ・PTA 活動による交通安全指導、事後の報告及びその周知、学校家庭での指導により登下校中の児童の安全につながっている。学校の危機管理について、今後も、様々な危険を想定した訓練を重ね、児童が自分を守る知識技能を身につけさせていきたい。
- ・クマ対応についても地域と連携して児童の安全を確保していきたい。

### 8 9 について（通知表）

- ・通知表（観点別評価）の評価について、何がどのようになっているか分かりやすさを求めている。普段の学習・生活の様子が保護者に伝わるよう、個別懇談を中心に丁寧な説明を行っていきたい。

## 教師について（全般）

- ・ほとんどの項目について肯定的回答（A+B）であるが、新たな C・D 評価も見られる。この評価にしっかり向き合い、真摯に対応していきたい。
- ・「学校について」の評価と関連させて、普段から気になることや心配なことも含め保護者と共有し、学校と家庭で協力して取り組んでいきたい。

## 子どもについて（全般）

- ・家庭での児童への A 評価が少な目であるが、おおむね肯定的評価（A+B）である。

### 4 6 について（家庭学習・読書）

- ・各学年でも家庭学習への指導を学年・個に応じて行ってきた。また、読書においても興味関心を高める機会を計画的に実施したり取組を行ったりしてきた。学習・読書ともに児童の意欲を向上できるよう努めるとともに、家庭での啓発をお願いしていきたい。

## ①学校評価について

### ☆校内自己評価について

A さん：学校経営がスムーズでありがたい。

校内についての評価がなされていて、とても重要。

附属小の特色である 3 検定・英語特区などについての先生方の評価はどうか。この評価を谷一小に持って行って、統合してからもしていきたいと発信すべき。

英語特区は、子どもを呼び込むために始めたもの。中では必要だということ

とは感じられる。しかし、外から評価されていないところがあるのではないかと。行政にも発信すべき。

教頭：英語特区については、今後発信できるところで発信していきたい。

校長：公開研究会では、英語の積み重ねを見ていただいた。しかし、外への発信はまだ行き届きの部分があるので、行政等にもあと1年だが発信していきたい。

#### ☆保護者アンケートについて

Bさん：保護者は子どものどこを見ているのか。子どもが外に出ている姿を見ると成長を感じる。家庭内とは違う姿を外で見せている。本を読むことも時間がない。帰ってからやらねばならないことが多すぎるのではないかと。学校図書館もとても工夫されている。本好きにするためには、家庭でおすすめ本を紹介して、一緒に楽しむことが必要。関わりすぎず、見守りすぎずが大切。

Aさん：C評価を気にする必要はないかもしれない。親の時間もない。子どもが本を持っていても、親が読んであげられない。自分から読むのを望みすぎかな。もう少し楽観的に見てもよい。

Bさん：自分の豊かな時間が子どもには必要。できないことをできるようによりも、できるところをもっと伸ばすこともよいのではないかと。

#### ②次年度に向けた取組について

教頭・自主性や逞しさを育てる。ICTの活用や探究活動。読書活動を家庭を巻き込んで取り組みたい。

- ・統合委員会の数が来年度は増えていく。花植え活動、昔の遊び、グランドゴルフなど、地域の方と行うことで、子どもの温かさが増える。
- ・スクリレの参加への感謝。
- ・読み聞かせの継続
- ・読書については、家庭への投げ掛けもしていきたい。PTA理事会でこの話題についてご意見をいただきたいと考えている。
- ・来年度、探究で公開を考えている。内容は、地域に根差した活動になっていくと考えられる。そこでまた、地域のご協力をお願いしていきたい。

校長：来年度は学習という観点から、附属小のこと、この地域のこと、自然のことについて探求していきたいと考えている。そこでご協力をお願いしたい。

Cさん：自分の歩幅に合わせた行動を。放課後子ども教室を考えなければいけない。この辺の70代は、仕事をしている。土日は百姓をしている。畑をするにしてもかなり足を運ばなければいけない。それぞれ自分の生活がある。

Bさん：子どもがやるときに大人がすべて口を出さない。耕運機を大人が丁寧にや

るのだが、そういうだけでなく、無理なく子どもの手でできるようなことを。

学校側：無理のないできる範囲の中でできるようにしたい。

Cさん：受けてしまうと自分がしないといけない。成功させないといけないという使命感が出てしまう。

Dさん：放課後子ども教室でたくさん学校には来ているし、満足度もあるので、続けられる。畑の熱意が伝わってくる。でも、学びとしての畑にしたほうが良いのでは。獲れなければそれでよい。それも学び。

Aさん：成果でなく、過程を大切にする。

教頭：かかわってくださる地域の方の幸せ感が大切。

Eさん：少人数校ならではの良さを感じられる。統合を前に、大勢の中で授業を受ける体験を。

校長：日常を体験して、課題を子ども同士で言い合えるような活動をしたい。そのときはスクールバスも稼働させたい。

#### 4. 閉会の言葉